

倉吉の活性化について意見を述べる若者たち14日、倉吉市宮川町のシビックセンターからや



おしよ

読みたい

はしよ

気付く

ほしよ

安らぐ

若者と行政など 激論

知事も出席し 倉吉の魅力考える フォーラム

若者と行政、商工関係者らが倉吉市のまちづくり、活性化について語り合う「激論フォーラム」いま、君に

とって鳥取は魅力的か？」(NPO法人未来主催、県共催)が14日、同市宮川町のシビックセンターからやで開かれた。

同市在住、出身者、UIターンの若者と平井伸治知事や同市の行政、商工関係者らの「大人」合わせて約100人が参加した。

フォーラムは、市内で100人の若者に聞いたアンケートなどを基に進行。4割が「倉吉は好きじゃない」と答えたことについて、若者は「買い物を楽しむ店がない」「集まれる場所がない」「交通が不便」を理由として指摘。「働く場が少ない」「ことから「県外に若者が流出する」と訴えた。

これに対し、平井知事は「倉吉は隣接する

岡山県も商圏と考え、鳥取、米子から人を引っ張ってくるビジネスを考えてほしい。若い人のやる気を支援をしていきたい」と倉吉での起業を呼び掛けた。

また、「若者への情報発信がない」「県中部のお店は企業努力が足りない」といった声

や「まちづくりにはキーマンが必要」「まちが楽しいコンパクトシティを目指すべき」といった提言も出されていた。